

新潟県津南町のイベントやツアー、活動など旬な観光トピックスを配信します。



1 ひまわり広場を支える津南の子どもたち。

場所：津南町芦ヶ崎沖の原台地

津南の夏を彩る「津南ひまわり広場」。約4haの広大な畑に50万本のひまわりが元気に咲き誇ります。期間中には、地元露店市や巨大迷路などのイベントが開催され、全国各地から約7万もの人々がこの広場を訪れます。5月頃から7月下旬の開園に向けて、準備を始めるひまわり広場を支えてくれる子どもたちがいます。

2 イングリッシュアドベンチャーが津南を拠点に出発！英語が飛び交うsummerキャンプが始まります！

マウンテンパーク津南は、町のスキー場として町民や観光客など多くの方に親しまれたスキー場でした。しかし、現在はスキー場を管理する団体（経営者）が現れず、からっぽの建物があるだけでした。その経営に、今年から手を挙げてくれたのが、サマーキャンプを主に手掛ける「イングリッシュアドベンチャー」です。

掲載情報について詳細を知りたい方は、下記まで気軽にお問合せください。

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 津南町役場地域振興課商工観光班

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp

1 ひまわり広場を支える津南の子どもたち。

準備作業のなかで「間引き」といわれる作業があります。間引きは播種後、30cmほどに成長したひまわりを「引っっこ抜く」作業です。単純な作業ですが、広大な畑のひまわりを間引く作業は非常に大変です。間引きを行うことによって、より大きなひまわりに成長し、きれいな花が咲きます。

そこで、町内小学生の放課後支援活動を展開している「NPO法人Tap」から協力をいただき、放課後活動の一環として、津南の子供たちによる間引き体験を計画しています。子供たちにひまわり広場の裏側を知ってもらうことにより、ひまわり広場がどのように準備されているのか理解を深めると共に、郷土愛を育み地域の良さを再認識できるような体験を目指しています。



◎体験の日程について

期 日：6月27日（月曜日）
場 所：津南町沖ノ原田地
時 間：16時頃から30分～
1時間程度（予定）
その他：雨天中止
問合せ：津南町役場地域振興課
TEL：025-765-3115

2 イングリッシュアドベンチャーが津南を拠点に出発！英語が飛び交うsummerキャンプが始まります！

「決まった拠点が欲しい！」白馬や、さまざまなキャンプ場を転々と活動していたイングリッシュアドベンチャー（EA）が津南町からのオファーを受け、2016年7月から拠点を津南町に移して活動を行います。

EAのプログラムは、「とにかく遊ぶ！自然の中で冒険し発見する！楽しみながら、英語を自然に身につける。EAの理念ですね。マウンテンパークは、自然の宝庫でプログラムが作りやすい。今から楽しみです。」プログラムマネージャーの油田さんが話をしてくれた。

4泊5日間のサマーキャンプで、子どもたちが成長して帰っていくことは、親の間でも話題になっており、リピーターにも繋がっている。この夏、津南町には関東や関西からたくさんの子どもたちが集まり賑やかな夏になりそうです。



主体：イングリッシュアドベンチャー
場所：マウンテンパーク津南
開始：7月21日（木）

掲載情報について詳細を知りたい方は、下記までお気軽にお問合せください。

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 津南町役場地域振興課商工観光班

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp

新潟県津南町のイベントやツアー、活動など旬な観光トピックスを配信します。



今月の注目トピックス

1

山中に巨大な石組み 天然の冷蔵庫は津南の産業遺産

問合せ：苗場山麓ジオパーク
推進協議会
電話：025-765-1600

電気冷蔵庫がない時代に、冷蔵保存を可能にした山伏山の風穴。養蚕業で大活躍していました。人々は風穴の原理は知らなくても、現象をうまく利用し養蚕業を発展させました。風穴がなぜ産業の発展に役立ったのか、そして誰が守っているのかを紹介します。

2

秘境秋山郷の魅力を創作料理で。 名物料理『候補』を試験販売。

昨年行われた「津南町・栄村・秋山郷“食の祭典”名物料理コンテスト」。見た目や美味しさだけでなく、伝統的な調理法や、ストーリー性など「名物料理」にふさわしい特徴のある5作品が選ばれました。全国への発信に先駆け、7月の「津南まつり」にて試験的に販売も予定しています。

掲載情報について詳細を知りたい方は、下記まで気軽にお問合せください。

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 津南町役場地域振興課商工観光班

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp

1 山中に巨大な石組み 天然の冷蔵庫は津南の産業遺産

山伏山の中に巨大な石組みがあります。それは、、、風穴です。風穴とは積み重なった石の隙間から冷気が吹き出しているものです。まさに天然の冷蔵庫。

山伏山の風穴は約150年前の明治時代の頃、養蚕で使われていました。蚕の卵を風穴で冷蔵保存することにより、「寒」「温」を作り出すことができるようになり、収入のアップにもつながりました。屋根がかかっており、柱を立てていた土台は現在も残っています。

昭和50～60年頃の養蚕の衰退があり、石の崩壊があったと言われています。石が崩れていたところを集落の方たちが3週間かけて今の形に復旧しました。現在使われている石は当時のものを使っています。当時、集落の方たちが守ってきたものを現在も集落の方たちが守り続けています。

「先代が残し、受け継いだものだから大切に守らなきゃなんね。」と山伏山森林公園管理組合の涌井四郎さんは語っています。



問合せ：苗場山麓ジオパーク
推進協議会
電話：025-765-1600

2 秘境秋山郷の魅力を創作料理で。 名物料理『候補』を試験販売

新潟と長野両県にまたがる秋山郷の振興組織「信越秋山郷会」では「津南町・栄村・秋山郷“食の祭典”名物料理コンテスト」を昨年実施。「豊かで多様な地元食材を活かした新たな料理」生み出した考え。コンテストでは多数の応募の中から5作品が選ばれました。

審査員の先生方の選定ポイントは、味や見た目だけでなく、素材や調理方法、ストーリー性など「名物料理となりうる特徴やこだわり」にあります。

秋山郷で伝統的に食べられている「トチの実」を使ったクッキー「とちころりん」で最優秀賞を受賞した山田さんは「食を通して秋山郷を発信し、観光につながってくれればいい」と語っています。

信越秋山郷会ではコンテスト入賞作品を広く知ってもらうため、入賞作品の作り方教室や津南まつりなどイベントでの試験販売を予定しています。

また、今冬には第2回目のコンテストも実施予定です。



最優秀賞：とちころりん（栃の実クッキー）

掲載情報について詳細を知りたい方は、下記までお気軽にお問合せください。

〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地 津南町役場地域振興課商工観光班

電話：025-765-3115 ファックス：025-765-4625 メール：chiikishinko@town.tsunan.niigata.jp